

第2期

貸借対照表

(平成30年3月31日現在)

株式会社ガスパル四国

(単位：千円)

| 科 目 | 金 額 | 科 目 | 金 額 |
|-----------------|----------------|------------------------|----------------|
| (資 産 の 部) | | (負 債 の 部) | |
| 流動資産 | 120,324 | 流動負債 | 87,292 |
| 現金及び預金 | 32,168 | 買掛金 | 37,749 |
| 売掛金 | 39,415 | リース債務 | 341 |
| 製商品及び仕掛品 | 8,430 | 未払金及び未払費用 | 25,714 |
| 原材料及び貯蔵品 | 1,284 | 未払法人税等 | 10,792 |
| 繰延税金資産 | 4,241 | 賞与引当金 | 10,939 |
| その他 | 34,783 | その他 | 1,755 |
| 固定資産 | 340,754 | 固定負債 | 46,944 |
| 有形固定資産 | 332,633 | 長期借入金 | 20,000 |
| 建物及び構築物 | 329,074 | リース債務 | 1,495 |
| 工具器具備品 | 719 | 株式給付引当金 | 430 |
| リース資産 | 2,840 | 資産除去債務 | 25,018 |
| 投資その他の資産 | 8,120 | | |
| 差入保証金 | 1,603 | 負 債 合 計 | 134,236 |
| 前払年金費用 | 165 | (純 資 産 の 部) | |
| 繰延税金資産 | 6,351 | 株主資本 | 326,842 |
| | | 資本金 | 40,000 |
| | | 利益剰余金 | 286,842 |
| | | その他利益剰余金 | 286,842 |
| | | 繰越利益剰余金 | 286,842 |
| | | 純 資 産 合 計 | 326,842 |
| 資 産 合 計 | 461,079 | 負 債 ・ 純 資 産 合 計 | 461,079 |

(注) 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

個別注記表

1. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 資産の評価基準及び評価方法

① たな卸資産の評価基準及び評価方法

| | |
|-----|---------------|
| 商品 | 最終仕入原価法による低価法 |
| 仕掛品 | 個別法による原価法 |
| 貯蔵品 | 個別法による原価法 |

(2) 固定資産の減価償却の方法

① 有形固定資産

(リース資産を除く)

定率法

ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（附属設備を除く）並びに平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数は次のとおりです。

| | |
|--------|--------|
| 建物 | 10～15年 |
| 車両運搬具 | 4年 |
| 工具器具備品 | 2～15年 |

② リース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

(3) 引当金の計上基準

① 賞与引当金

従業員の賞与の支給に充当するため、支給見込額を計上しております。

② 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務（及び年金資産）の見込額に基づき計上しております。

過去勤務債務は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数（8年）による定額法により費用処理しております。

FN_GPC

存勤務期間以内の一定の年数（8年）による定率法により按分した額を、発生した事業年度から損益処理しております。

(4) 収益及び費用の計上基準

① ガス事業売上高 検針基準

② 完成工事高及び完成工事原価 工事完成基準

(5) その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

① 消費税等の会計処理 消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

② 記載金額は、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

2. 当期純損益金額

当期純利益 14,369千円